

## 議事録（概要版）

会議名	2019年度（令和元年度）第1回 福山市男女共同参画審議会
議題	報告事項：(1)2018年度（平成30年度）福山市男女共同参画基本計画（第4次）の年次報告について (2) 審議会等への女性の参画状況について (3)2019年度（令和元年度）福山市男女共同参画推進計画について 協議事項：(1) 審議会における男女の比率について (2) 福山市男女共同参画推進表彰について
日時 場所	2019年（令和元年）8月9日（金）10：30～ 福山市男女共同参画センター大会議室
出席者 欠席者 事務局	松永委員，中安委員，正保委員（会長），齋藤委員，岡本委員，藤井啓一委員，藤井みのり委員，平賀委員，鎌倉委員，小葉竹委員，石井委員，瀬戸田委員，野島委員，平木委員 馬場委員 スポーツ・青少年女性担当部長，青少年・女性活躍推進課長，雇用労働担当課長 ほか
傍聴	1名

### 1 報告事項

- (1) 2018年度（平成30年度）福山市男女共同参画基本計画（第4次）の年次報告について
- (2) 審議会等への女性の参画状況について
- (3) 2019年度（令和元年度）福山市男女共同参画推進計画について  
→ 事務局が一括で説明し，続いて質疑応答を行った。

質疑	応答
① 男女共同参画週間記念講演会の講師について，男女共同参画というテーマには適してなかったのではないかと。	① 確かに，話の内容が，少しこちらが思っていたイメージと異なっていた。事務局としても出来る限り情報を集めて人選をしたつもりだったが，不十分だった。しっかり反省し，今後の人選に生かしていきたいと思う。
② 男女共同参画推進委員の出前講座の依頼回数について，1団体のお願する回数制限などは決まっているのか。	② はっきりと規定はしていない。但し，講師に支払う謝礼等予算の関係もあるため，一定程度でさせていただく部分もある。
③ DV相談について，相談事業に取り組まれた結果，相談件数もこの3年間で増加しているが，この結果は良い結果として捉えているのか，もしくはDV自体の事案が増えているため，良くないと捉えているのか。	③ 今までは相談に来られなかった方が，来られ出したことから，良い結果として，どちらかというように捉えている。
④ 新しい懇話会等が増えているが，まだまだ女性委員が少ない。どういう選任をしているのか。	④ 基本的にはそれぞれの審議会等の規定によりまして，委員の方の選任している。事務局としては，それぞれの所管をしている所をお願いをして，出来るだけ女性の参画を促すような形での選任をお願いしているが，それでも中々出来ない事が実態にある。
⑤ 2018年度の男性市職員の育児休業取得率は2.8%で，2016年度と比較すると4.1%下降し	⑤ 育児休業取得率については，上げていかないといけないと考えている。市全体としても，人口減

ている。下降している実態について、どう考えているのか。

⑥ 「LADY WORK CAFE」について、2019年度はどのようになっていくのか。

⑦ DVの相談数がこれだけ増えているというところで、ここにもう少し人材を配置する必要があるのではないか。

⑧ DVと虐待に関して、DVを受けて相談に行っても離婚する自信が無い、離婚したらシングルマザーになって、生活困窮になってしまうことから、そのまま耐え忍んで子どもに手を出して虐待になってしまうということがある。女性が働くためには、子どもをきちんと預けて働ける、もしくはシングルマザーでも生活が安定して働けるということに繋がっていくような取組は、何か相談窓口であるのか。

⑨ どうしても命の危険があって、逃げなければならず、シェルターを利用している方もいる。NPOでシェルターを確保するためにはお金が必要で、その被害者に負担してもらわないといけない。そういうことで行政の手助けが少なく、大変困っているということをNPOの方から伺った。その辺りの充実が、安心・安全で暮らせる地域社会になってないのではないかと、非常に感じている。

⑩ 福山には性暴力のワンストップセンターはあるのか。またそういう相談というものはあるのか。

少等も踏まえて、考えている事もある。休暇を取りにくいといった職場環境そのものの問題もある。ワーク・ライフ・バランスの視点で、総合的に休暇・休業を取りやすいといった職場環境作りに取り組んでいきたいと考えている。また最近人事課が「THE 男の育児休業」というチラシを作成し、制度についての周知・啓発に取り組んでいる。

⑥ 2019年度については、実は子育てをされている女性の中でも、今は職に就いていない、就職はしていないけど、今後就職をしたいと思われる女性が多くいる。そういうことを踏まえ、2019年度からは学生にも引き続き啓発を続けていくが、子育て中の女性に対して少し軸を移し、そちらの方に力を入れて就労促進、啓発をしていこうと考えている。エフピコR i M6階にネウボラ相談窓口「あのね」があることから、その隣へ「LADY WORK CAFE」を移設し、連携した取組が出来ないか考えている。

⑦ 人材的には現在平日3人、土日についてはNPOに委託するといった体制で行っている。今後も色々体制としては充実させていきたいと考えている。ただDVだけではなく、児童虐待等を含めてDVが関連する色々な相談が広がっているのだから、そういったところも踏まえて充実させていきたい。

⑧ 女性相談の方では、もちろんDVの、どちらかという離婚であったり、そこでの手続きについてであったりなどの相談を受けており、その後の必要な手続きについては担当する関係部署がある。なので、例えば女性の母子での生活支援であるとか、そういった所へ繋げていくようになるかと思う。相談窓口で全てを全てが完結できるという訳ではなくて、どうしても関係部署との連携によって色々な課題を一つずつ繋いで解決するようになる。

⑨ その辺りについては、現在色々検討している。実態として、公的シェルターがどうしても東部にはないということもあり、実際にNPOの方、民間シェルターに頼ってしまっている実態があることは認識している。どのような支援が出来るかについては、検討していきたいと考えている。

⑩ 性暴力のワンストップセンターは無い。もちろんそういう相談は、男女共同参画センターでも受け、広島県の子ども家庭センターでも受けてい

	る。性暴力のワンストップセンターへ繋ぎ、相談を受けるといことはある。
--	------------------------------------

## 2 協議事項

### (1) 審議会における男女の比率について

→事務局から現状等を説明し、各委員から女性の委員比率を上げるための案を伺った。

委員案
<p>① 男女共同参画推進本部を立ち上げ、市役所の中で横断的な組織を作っていく事が、まず必要なのではないか。それだけの権限と、対応力を付けていかなければならない。まずはそういった仕組みを作り、その中で条例を策定、具体的な取組を進めていくこと。</p> <p>② 各審議会の所管課に対し、男女のバランスが取れていないところには事前にリストを提出してもらい、そこに事務局から女性の登用を促すような提案をしていくこと。</p>

### (2) 福山市男女共同参画推進表彰について

→事務局から諮問、説明し、質疑応答を行った上、諮問案どおり認める旨の答申を得た。

質疑	応答
<p>① 育児制度があるということは、妊娠して出産しても仕事が続けていける環境があるということか。</p> <p>② 女性の管理職が、株式会社カスタムにはいないが、現在は育成中とうことか。</p>	<p>① そうということになる。</p> <p>② 女性の採用拡大が、ここ最近のことで、やはり製造業と言うこともあり、過去は男性従業員の方が多くいる中で、管理職についてはこれから人材育成に取り組まれると考えている。</p>